

栄養の力で国民の命を守る！未来を変える！
“栄養のちから”で変える未来！
あなたが“力”を握る次のステージへ

改訂版：2025年6月5日発行（第2版）
※このチラシは2025年5月26日発行の初版を一部修正したものです。

ご要望に応じてテーマ追加！
お申し込みは、お早めに！！

臨床栄養を学びなおす！ 患者を見る・見る・診る

— 栄養士の明るい未来を創るために —

[in 高崎（群馬県）]

病院・福祉施設・在宅ケア・食品メーカー・学生・その他
栄養に興味がある方、どうぞご自由にご参加ください

定員 50名（事前申込制・先着順）

※定員に達し次第、締切させていただきます。

申込締切：7月7日（月）

参加無料

開催日

2025年
7/10
(木)

臨床栄養を学びなおす！

それは、患者を見る・見る・診る力を育て直すこと。

高齢化・多疾患併存時代において、医療における「栄養」の重要性はますます高まっています。臨床の現場では、ただ“見る”だけではなく、患者の背景や状態を“見る”力、そして専門職として“診る”力が栄養士に強く求められています。本セミナーでは、臨床栄養の基本に立ち返りながら、患者に寄り添う視点、疾患の理解、チーム医療の中での栄養士の役割をあらためて見つめなおします。“見る・見る・診る”力を磨くことが、栄養士自身の未来を切り拓く第一歩となるはずです。これからの臨床栄養の“実践力”と“発信力”をともに考え、行動に移すための学びの時間をご提供します。

「栄養士の未来は、現場から変えられる」

— 今こそ“実践者”として立ち上がる時！ —

私は、これまで全国に先駆けて病院内に栄養管理の仕組みを築き、患者さん一人ひとりと真正面から向き合ってきました。その中で得た経験と学びを、今こそ皆さんと共有し、ともに次の時代を創る“実践者”として歩み出したいと願っています。私たち栄養士が本来の力を発揮できる現場は、まだ十分に整っているとは言えません。人手不足、過重労働、制度とのギャップ…。そして、78年前に制定されたままの栄養士法の下で、私たちは時代の流れに取り残されかけています。けれども、私たちには変える力がある！現場にいるからこそ気づける課題があり、行動に移せるチャンスがあります。今こそ原点に立ち返り、臨床栄養を本質から見直し、患者を“見る・見る・診る”力を取り戻しましょう！

2025年を、変革の年に！栄養士の未来は制度でも、誰かの指示でもなく、私たち自身の行動によって現場から変えられるのです。どうか、このセミナーをその第一歩にしてください。

医療法人

中央群馬脳神経外科病院 栄養課（担当：黛）

〒370-0001 群馬県高崎市中尾町 64-1



講師

〈管理栄養士〉

やすし

みやざわ 靖 先生

- 東京医科大学病院 栄養管理科科長
- 京都光華女子大学客員教授
- 美作大学大学院臨床教授
- 甲南女子大学医療栄養学部 非常勤講師
- 一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事
- 日本メディカルダイエッシャン研究会会長
- Emory University Hospital NST 特別スタッフ



時間

開場・受付開始 18:00～

18:30～19:30

講演終了後は、みやざわ 靖先生とお名刺交換、直接ご質問・ご相談、情報交換など、どうぞご自由にご歓談ください。

会場

医療法人

中央群馬脳神経外科病院

1Fホール



▲交通アクセス▲

お申込み・
お問い合わせは
QRコードから



※定員に達し次第、締切させていただきます。ご了承ください。